

週刊 **タバコの正体**

家庭における受動喫煙の有無は、同居家族の喫煙者の有無で決まります。家族の形態は、一人暮らしや夫婦だけ、夫婦と子供など様々ですが、現代では約20%の世帯がペットを飼育し、家族同様に暮らしている家庭が増えています。じつは下のグラフを見て下さい。なんと、犬や猫の飼育頭数が15

子どもの数と犬猫の飼育頭数



子どもの数を上回る犬猫の飼育頭数



PR TIMES サイトから

出典：ペットフード協会/総務省統計局

歳以下の子供の数より多いのですから、ペットも家族の一員となってもおかしくありません。

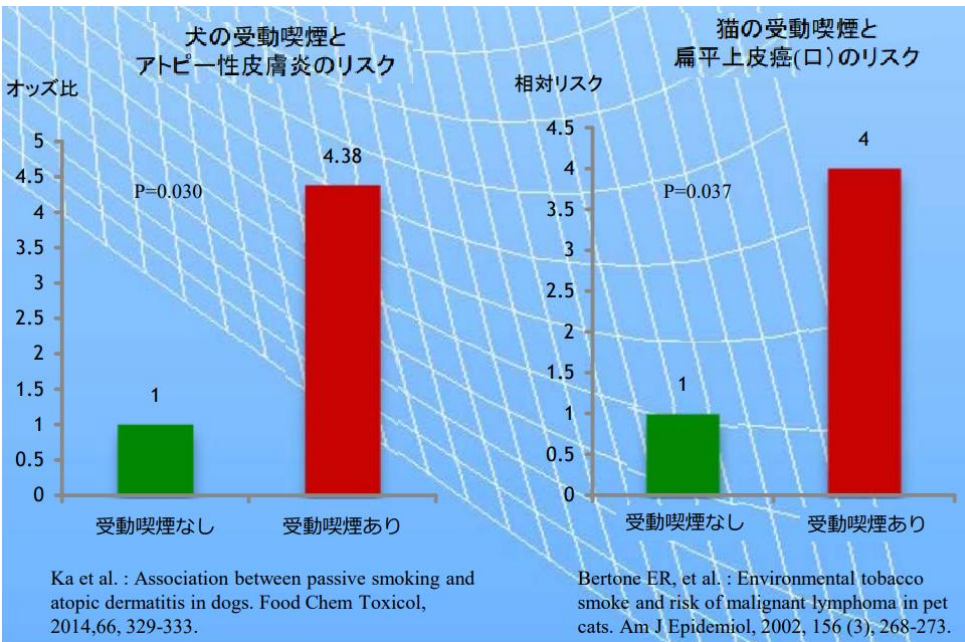
だとすると、喫煙者のいる家庭で暮らすペットも当然受動喫煙の被害を受けてしまいます。そうするとペットも病気になる確率が高くなります。左のグラフには、受動喫煙をうけると犬や猫が皮膚炎や癌になるリスクが4倍になるという調査結果が示されています。

また、下の表には飼育している犬や猫が癌にならないためのポイントには、受動喫煙を避ける事が挙げられています。

タバコを手にと散歩している姿や、ペットを乗せた車内で喫煙しているのを見た事はありませんか。

こんな事にならないよう、タバコを吸い始めないようにしましょう。

産業デザイン科
奥田恭久



Ka et al. : Association between passive smoking and atopic dermatitis in dogs. Food Chem Toxicol, 2014,66, 329-333.

Bertone ER, et al. : Environmental tobacco smoke and risk of malignant lymphoma in pet cats. Am J Epidemiol, 2002, 156 (3), 268-273.

EDUWARD MEDIA 「特集・連載」サイトから

＜犬猫の癌の予防法・7つのポイント＞

1. 不妊手術（卵巣子宮摘出術、精巣摘出術）
2. 肥満防止（栄養、体重のコントロール）
3. 動物種による癌の予防健康プログラム（早期発見）
4. 汚染物質をできるだけ避ける（殺虫剤、除草剤、アスベスト、受動喫煙、直射日光、灯油ストーブ等）
5. 犬猫用に作られたバランスの良い食事
6. 人と動物の絆を深める（精神活動とストレス軽減）
7. 定期的に管理された環境（定期健診、日常の健康管理等）